

第3号

令和8年2月

高芝通信

発行元 高芝地区社会福祉協議会
船橋市新高根 1-12-9 新高根公民館内
Tel・Fax 047-469-5050



地域の居場所 子どもの食堂



クータンショップを楽しむ小学生たち

子ども食堂「キッズパントリー 花とリボン」(堀尚子代表)。芝山5-2-3-2F
TEL 050-3171-8770。偶数月の第3
土曜日開催。LINEによる予約制。

「子どもの貧困」が社会問題化し、これをきっかけに生まれた「子ども食堂」は地域に欠かせないインフラになりつつある。高芝地区では3年前から「キッズパントリー 花とリボン」「芝山子ども食堂」(まごころ亭)の2カ所で運営されている。無料、低額な食事。一人親や生活困窮世帯の親子に限らず、地域の高齢者とのつながりにも目を向ける。「食」にとどまらずクータンショップや学習支援や放課後の居場所づくりと形態は様々だ。運営するのは飲食店主、福祉の仕事と両立するショップ店主。「月に一度でも子供たちの孤立、孤独の支えになれば」と、知恵を絞る日々が続く。



温かな弁当が子どもたちをいやす

芝山子ども食堂(店主 宮垣道子)。
芝山6-62-9、TEL080-9879-0227。原則
月1回第4日曜日開催。参加費・こ
ども、中・高校生は無料。大人300円。

薬剤師の杉山氏 市政功労表彰

本紙第2号に掲載された船橋薬剤師会会長、杉山宏之さんが昨年11月、船橋市から市政功労表彰されました。おめでとうございます
どうぞい
ます。超高齢化社会にあつて「かかりつけ薬剤師」の重要性を唱える身近な健康サポーターとしての活動が続きます。



オレンジ色の屋根瓦が美しい
福祉施設・オレンジガーデン
Tel 047-461-5356

複合福祉施設 「オレンジガーデン」



施設内で初詣気分も

社会福祉法人康和会「オレンジガーデン」=写真=は東葉高速鉄道「飯山満駅」近くの複合福祉施設で特別養護老人ホームやデイサービスケアハウス等を併設し安心の暮らしを支えています。温かみあるオレンジ色の外観。穏やかな雰囲気で一入ひとりの生活を大切に、地域とのつながりを大切にする施設です。当施設では、利用者様にお正月の雰囲気味わっていただくために、元旦に職員手作りの年賀状を配布し、お屠蘇を提

供して新年のお祝いをします。玄関ホールには職員が作成した鳥居と賽銭箱を設置し、初詣気分を演出しました。利用者様は笑顔で手を合わせ新しい年への思いを語られました。

また、空いた時間を見計らって1月の期間中に車で初詣へ外出し実際の神社での参拝も楽しんでいきます。

外出先での冬の風景にも会話の花が咲き利用者様同士の交流も深まりました。今年もオレンジガーデンでは利用者様の笑顔と安心を支えながら季節に応じた行事を大切にしていまいります。

認知症サポート・チームオレンジ 喫茶「ふるさと」で地域交流

国の認知症施策の一つ「チームオレンジ」がスタート。高芝地区では昨年8月から高根台7丁目、木戸脇幼稚園に隣接する福祉施設1階のカフェスペースを会場に「オレンジカフェ・喫茶ふるさと」を開催しています。2カ月に1回の開催で誰でも参加できるコミュニティとして参加者呼び掛けによって人気は上々。参加費300円。問い合わせは 株式会社あいらいふ 0120-523-023まで。



8/29 整体操で



11/4 ハロウィン気分

12/25 クリスマスパーティー

身近な社会貢献

高芝地区社協では各種事業にボランティアを募集しています。紙面に紹介したイベントは昨年、地域の注目を集めた事業の一部です。規模の大小にかかわらず、ほとんどの事業はボランティアの支えがなければ成り立たな

ボランティア



／ やってみない！ ／

いものばかり。一つのイベントは企画、準備、当日の運営サポート、参加者の案内などが主な活動です。地域貢献を

考えている方、高芝地区社会福祉協議会（TEL&FAX 047-469-5050）までお問い合わせください。

福祉まつり

10月5日に開催された「福祉まつり」は地区社協の一大事業です。準備期間は計画から数えたら半年以上。大きな事業だからこそ多くのボランティア協力なくしては開催できません。まつりを支え、盛り上げる頼もしい存在なのです。飲食コーナーに初登場したキッチンカーの情報をはじめ、数々の場面でボランティアの力添えがあり充実した内容となりました。事前準備、当日ともに大勢の方が参加し、売り場・各コーナー準備や売り子としても大活躍です。おかげで当日

は延べ1800人を超す人出で大にぎわい。福祉まつりに訪れた皆さんが、ボランティアの明るく楽しそうに動き回る姿を見て「私も参加してみたい」と思う方が増えてくれたらこんなうれしいことはありません。

地区社協は地域に多種多様な「集いの場」を作ることが目標の一つです。是非、足を運んでみてください。



福祉寄席

11月18日、三遊亭圓福師匠を招いての福祉寄席。ボランティアの皆さんは会場づくりが今回のミッションです。テキパキと客席用の椅子を出し並べ…あっという間に会場が出来上がりました。もちろんその後は師匠の嘶でお腹を抱えて大爆笑！これも地区社協のボランティア活動です。



ハワイアンJAZZ

12月6日、いろいろなお縁でつながり東京から出演してくださった「AJC」ハワイアンJAZZの演奏会。それがいつしか新高根公民館のフランダースサークル「ラウレア」とコラボすることになり、とても素敵な演奏会となりました。

この日もボランティアさんはハワイアンな雰囲気の中で盛り上げようと大活躍。会場にはハワイのイラストや飾り付け、皆さん全員がしを付けてお客様を出迎え、そして見送りも。高芝地区社協初の試みであるこの演奏会が大成功したのもボランティアさんの力があってこそなのです。



【ひだまりサービス】庭木の剪定や伐採などの有償作業ボランティアも募集中です。その他、包丁研ぎや力仕事のできる方歓迎です。ご連絡を！

ボランティア体験で学んだ「支え合う心」

「地域の中で長く続けてきて良かったことはいろいろな人と知り会えたこと」と振り返る皆さん（写真左から吉田テイ子さん、石神道子さん、遠藤典子さん）。ミニデアサービス事業のボランティアとして新高根チーム14人のまとめ役を務める石神さんと遠藤さん。事務局の吉田さんと同様、25年前、ミニデアが始まった頃からのメンバーだ。

ミニデアボランティアの仕事は毎月、公民館に集まる単身高齢者に楽しい時間を過ごしてもらおうこと。そのために一人一人の体調を気遣いながら参加者が会場の雰囲気にながら染んでいるだろうか、孤独感を味わっていないか、ボランティアの連携による目配り、気配りが大切になります。経験と知恵が生きるボランティアの姿は事業の担当者にとっても頼もしい存在なのです。

高齢化するボランティアたちも「出来る限り続けていきたい。みんなの輪の中こいづかい」と話しています。